



キャリアガイダンスレポート
佐藤 聖子

フォーカス

スタイル

はじめに

概要

レポートのこのセクションでは、あなたの相対的な強みと不得意分野を順番に4つのグループに区分します。あなたの行動が効果的な上位3つの分野を「代表的な強み」と呼び、シンボル4個で表します。次の3つの分野は「補助的な強み」と呼び、シンボル3個で表します。さらに次の3つの分野は「若干の強み」と呼び、シンボル2個で表します。最後の3つの分野は「課題・困難のある分野」と呼び、シンボル1個で表します。

代表的な強み

レポートのこのセクションでは、あなたの最大の強み3種類を扱います。「自分の強みを知る」では、あなたが職場にもたらす特別な貢献について説明します。「組織文化・環境への適応」では、あなたの価値観やニーズと一致する可能性が高く、仕事上の満足につながることの多い組織文化の概要を説明します。「強みを最大限に活用する」では、自分の強みで最大のインパクトを生じる方法のヒントを紹介します。「強みは賢く利用する」では、自分の強みに頼り過ぎてしまい不利となる可能性について指摘します。そして最後に、「あなたの強みによる面接中の競合優位性」では、面接に備える方法のヒントを紹介します。

課題・困難

レポートのこのセクションでは、あなたの行動有効性が最も低い3種類の分野を扱います。「自分に課題・困難のある分野を知る」では、実践で一貫して示すことが難しい可能性のある行動の概要を説明します。「適さない可能性のある組織文化・環境」では、ストレスを感じる可能性が高く、仕事上の満足やパフォーマンスが低下する可能性のある職場環境の概要を説明します。「課題・困難のある分野で努力する」では、この分野の能力開発方法のヒントを紹介します。「課題・困難のある分野を利点に変える」では、あなたの課題や困難のある分野を別のポジティブな角度で考えます。

キャリア分野チャート

このチャートは、たくさんの役割を対象とする12種類の大まかなキャリア分野へのあなたの適性を表しています。これは、あなたの行動上の強みに基づくものです。行動上のさまざまな強みがそれぞれのキャリア分野の裏付けとなります。

キャリア分野への適性

レポートのこのセクションでは、あなたにふさわしい上位3種類のキャリア分野を紹介します。3種類のキャリア分野のそれぞれについて、あなたの強みの程度を関連する行動分野に照らし合わせて示します。

概要

このページでは、あなたの相対的な強みの概要を紹介します。強みを4つのカテゴリーに分け、各カテゴリーに3種類ずつ区分します。強みのリストでは、あなたが最も得意とする「代表的な強み」から、あなたにとって最も大きな課題・困難のある分野まで順に紹介します。「代表的な強み」と「課題・困難のある分野」の意味合いについては、その後のページでさらに詳しく説明します。


代表的な強み

情報を伝達する		4ページ
関係を構築する		5ページ
成功に向けて邁進する		6ページ

補助的な強み

冷静に対処する	
リーダーシップを発揮する	
問題を評価する	

若干の強み

変化に対応する	
詳細をプロセスする	
事案を調査する	

課題・困難

構造的にタスクを整理する		8ページ
サポートする		9ページ
イノベーションを創造する		10ページ

代表的な強み

情報を伝達する



自分の強みを知る

あなたは、他の多くの人よりも自信と確信を持ってあきらめずに自分の意見を伝える用意ができています。これは、おそらくあなたの意見が他の人の意見より採用され、他の人々を自分の意見に近づけられる可能性が高いという点で有利でしょう。

あなたの文化・環境への適応

あなたはおそらく、自分の視点を明らかにして意見を表明し、結果に大きな違いをもたらす仕事が好みでしょう。ただし、権威主義が過度に強く、言われた通りに行動するよう要求される独裁的な組織文化の中で仕事をするのは、難しいと感じるかもしれません。

強みを最大限に活用する

自分の意見を効果的に伝えるとは、何よりも第一に相手を理解するという事です。相手のニーズは何かだけでなく、何が原動力となり、やる気を与えているのか理解するよう努力しましょう。それを理解すれば、皆が受け入れる可能性のより高い方法で、自分の意見を伝えるのに役立ちます。反論として挙がる可能性の高い問題を事前にじっくりと考えて準備し、その反論に応じる、またはそれを超えるような強い論点を開拓しましょう。誰かの反論にはまず否定しない形で認め、それから対処することを心に留めておいてください。

強みは賢く利用する

おそらくあなたは、自分の意見を通そうとする過程を他の人よりも楽しめるので、あなたの強みを仕事に取り入れるには注意する必要があります。時にはあなたの意見が望まれない、またはあなたが表現する意見が歓迎されない場合があるかもしれません。不必要に闘争的になることを避け、批判を控えるべき時を察する慎重さを持つよう努力しましょう。

あなたの強みによる面接の競合優位性

説得に成功した相手で、影響を与えるのが難しいと思われていた人のことを考えましょう。何か自分が言ったことで、その人を説得するために役立ったことを具体例として挙げれば、面接で説得力のある主張をするために役立つでしょう。有意義な違いを生むために役立ったのは、厳密に自分のどんな行動だったのかを簡潔に明確に答えましょう。

代表的な強み

関係を構築する



自分の強みを知る

あなたは人間関係を開拓して他の人々と交流し、自分に注目してもらうことについて、他の人々よりも積極的な可能性が高いでしょう。あなたは、他の人が開拓できるような人脈よりも大きな人脈を持っているため、より多くのチャンスを得られます。このことはあなたのキャリアに重要です。

あなたの文化・環境への適応

あなたは、他の人々と会って一緒に過ごし、新しい人間関係を築くたくさんの機会がある環境で、おそらく活躍するでしょう。会話が少なく、どちらかと言えば個人主義的で、他の人々と関わる時間があまりない環境では、仕事のやりがいや楽しみが少ないと感じる可能性が高いでしょう。

強みを最大限に活用する

人間関係を築いて成果を上げる他の人々が、それをどのように最も効果的に進めているかを見て学びましょう。例えば、関係を十分確立した知り合い・友人に誰か他の人を紹介してもらうよう頼んだり、自分の仕事を離れてでも相手を助けたり支援したりして仕事上の重要な人間関係を強めるなど、単純なことで有意義な違いが生まれます。

強みは賢く利用する

職場で他の人々と関わりながら過ごす時間は重要ですが、時間は賢く使い、大切な人々に十分な時間を確実に費やすようにしましょう。一緒にいて楽しい人と時間を過ごすのは当然の傾向ですが、あなたの仕事をもっと効率的に進めてキャリアを伸ばすには、自分の人間関係構築能力をどう活用するのが最善の方法かを検討することも重要です。ただし、あからさまに自己宣伝することはネガティブに受け取られる可能性がありますので、やり過ぎないように注意する必要があります。

あなたの強みによる面接の競合優位性

あなたを他人と差別化するのはどんな行動なのか明確にしましょう。あなたの人との関わり方が、他の人の方法とどう違うのかを説明するのは難しいでしょう。信頼できる相談相手に、自分のことをどう表現するか質問しましょう。あなたが人間関係を築く能力は、面接中にあなたが何を言うかだけでなく、どう振る舞うかにも基づいて判断されます。

代表的な強み

成功に向けて邁進する



自分の強みを知る

あなたは明確な形で貢献するので、おそらく他の多くの人々より熱心に仕事をして作業の原動力となり、物事を実現するでしょう。これは、野心的なプロジェクトの成功と失敗の明暗を分ける重要なスキルです。あなたの個人的な視点からは、キャリアの長期的なポテンシャルの高さを裏付ける強みともなります。

あなたの文化・環境への適応

あなたは、具体的に達成した功績をもとに報奨され、結果を出すことが高く評価される組織文化に、おそらく適しているでしょう。自己満足な職場で、現在の成功と達成のレベルが十分と見なされ、さらに向上することを求めない組織環境では、あなたは不満とフラストレーションを感じるかもしれません。それでも、十分な自由が与えられれば、あなたはそのような職場環境にポジティブな影響を与え、改善することが可能です。

強みを最大限に活用する

あなたの努力で、組織とあなた自身のキャリアに対して本当の意味での違いを生むことができるのはどの部分かを考えましょう。手に入るすべての課題・困難を引き受けたいという誘惑に駆られるかもしれませんが、ときには、本当の意味での違いが何から生まれるか、それによってどのメリットに多くの努力を注ぐか、時間をかけて検討することも役立つでしょう。課題・困難を2つに分け、勝利を簡単に勝ち取れるものと厳しい闘いになるものに区分してみることを有益でしょう。あなたの能力でできる限りたくさんの簡単な勝利を目指すことも可能で、厳しい闘いになるものの中ではどれに向かって努力する価値があるかを慎重に検討するとよいでしょう。他に成功する人が少ない領域で、勝負する価値のある闘いはどれかを認識することは、成功を収める多くの人に共通するスキルであり、重要な競合優位性につながる可能性があります。

強みは賢く利用する

他の人々は、あなたの強みに圧倒されたり、不安を感じたりする可能性があるため、時間をかけて皆に自分の目標と意図を明確に理解させる努力が必要でしょう。そうしないと、憤りや不健全なライバル関係が生じる可能性があります。他の人々は、あなたと同様の時間や努力を注がずに、十分な仕事をするだけで成功を達成し、満足しているかもしれないということは認識しておく価値があるでしょう。あなたには非常に長い期間にわたって真剣に仕事をする用意ができているため、他の人ばかりでなく自分の健康や幸福も疎かにしないよう徹底する必要があります。あなたが好む仕事のスタイルにあるプレッシャーを緩和するのに役立つような他の社交的、知的、身体的な活動に時間を取るよう努力しましょう。

代表的な強み

成功に向けて邁進する



あなたの強みによる面接の競合優位性

面接者は、自分の業績を現実的に捉え、何が成功しなかったか、ぶつかった問題があればそれを是正するために何をしたか、今後同じ失敗を避けるためにどうするかを明確に言葉で表現できる候補者を求めています。積極的で意欲的なあなたのスタイルは、同僚との人間関係や、行動する前に情報を評価する能力など、職場のパフォーマンスの中で他の重要な側面を軽視しているという印象を与える可能性があります。自分の達成した事柄が他の人々にどう役立ったか、関連のある人々が自分の目標にどのように協力してくれたかを説明するよう努めましょう。関連するすべての要因を考慮し、事前に検討せず行動を取ったのではないという確信を面接者に与える必要があるでしょう。行動を開始する前に作業をどのように計画したかを説明することが役立つ可能性が高いでしょう。

あなたがどんな有意義な違いを生んだか、結果として具体的にどんなメリットを組織またはエンドユーザーに与えたかを詳細に説明しましょう。また、その通常外の努力（例：作業時間、不都合に耐えたことなど）がなぜ重要であり、成功につながったと考えたかを明確に説明しましょう。

課題・困難のある分野

構造的にタスクを整理する



自分の課題・困難のある分野を知る

あなたは、物事をきちんと整理する可能性が他の多くの人より低く、仕事にどうアプローチするかという計画を立てるのを避けることが多いでしょう。あなたには、期限間際まで仕事を終わらせない傾向があり、あなたの仕事のやり方に、おそらく高度な体系化は重要な役割を持っていないでしょう。

適さない可能性のある組織文化・環境

多くの異なる業務があり、それを整理・編成して調整する必要がある組織環境には、おそらくあなたは適していないでしょう。同様に、期限に柔軟性のない環境も、あなたには適さないかもしれません。自分が適切だと思うようにアプローチを変更する柔軟性がなく、非常に体系化された特定の仕事をを行うよう求められると、あなたはフラストレーションを感じる可能性が高いでしょう。

課題・困難のある分野で仕事をする

仕事をいくつかの小さな要素に分割すると、プロセスを単純化することが可能です。それぞれの要素に個別に対処すれば、あなたの整理・編成や優先度決定のスキルを伸ばすのに役立つでしょう。他の多くの人々は、体系立てたアプローチを取ることを選ぶ可能性があなたよりも高いので、あなたの周辺作業を体系化する手助けができるでしょう。あなたよりも体系立った仕事をする人に、それぞれの小さな要素の期限に従い、それぞれの実行の優先順位を決定する手助けを求めてもよいでしょう。

課題・困難のある分野を利点に変える

他の多くの人と比較して、体系化や整理・編成の少ない方法で仕事をすれば、もっと仕事に柔軟性を持つことが可能になるでしょう。体系立った手順に強く依存しなければ、現在の状況に対する必要に応じて自分のアプローチを適応させる機会が多くなるでしょう。体系立てずに仕事をする、制限で締め付けられる可能性から解放され、斬新なソリューションを開発したり標準外のアプローチを取ったりすることが可能になるでしょう。体系化せずにアプローチして成功した、または予想しない事態に対応して後から重要だったと判明した過去の状況を思い出すことが役立つかもしれません。他の多くの方は、おそらくあなたよりも体系立っているので、自分より体系立った人と共同で仕事をする、創造性とプロセスの有益な組み合わせが実現するでしょう。

課題・困難のある分野

サポートする



自分の課題・困難のある分野を知る

仕事上、あなたが最大の重点とするのは、他の人を支援したり面倒をみたりすることではないでしょう。ときにあなたは、自己中心的で人間関係の問題を十分に重視していないと思われるかもしれません。

適さない可能性のある組織文化・環境

協力的過ぎて何でも甘受してしまうような環境、例えば標準以下のパフォーマンスであっても肯定的な角度から評価され、批判することを最小限に抑えられている職場で仕事をすると、あなたはフラストレーションを感じるかもしれません。

課題・困難のある分野で仕事をする

あなたは、常にとても協力的なわけではありませんが、そのような傾向が著しくなく他人と一緒に仕事するのは難しいと感じることがない限り、必ずしも問題ではありません。ただ、他の人を支援することは、いろいろな場面で多くの人にある程度要求されている行動だということは心に留めておいてください。特に、相手の気持ちを考えない行動は一部の人を遠ざけてしまうことがあるため、職場で他の人々をどう支援すればよいのか、必ず時間をかけて考えてください。他の人を支援したり面倒をみたりする時間を取らないと、あなたが不要なライバル関係や敵意を生み出している人と見られているかもしれないことを認識する必要があります。

課題・困難のある分野を利点に変える

他の多くの人ほど同情的ではないとしても、あなたは選んだ部分で効果的に真の支援をすることができます。支援することがその人のパフォーマンス向上につながりそうな場合や、人の士気や満足感を高めるためにニーズに応じることが特に望ましい場合は、支援を実行すべきです。また、常に他人に非常に協力的だと、お人よしで実行力に欠けるか、またはおせっかいとまで見られることがあります。おそらくあなたはそう見られないでしょう。客観的で、他の人を支援するアプローチに計画性があれば、自分の仕事の中で他の重要な側面にもっと焦点を合わせる時間を取ることもできるかもしれません。

課題・困難のある分野

イノベーションを創造する



自分の課題・困難のある分野を知る

あなたが新しい発想や独創的な提案の作成に集中する可能性は低いでしょう。他の人々の発想を土台に築くことはあるかもしれませんが、根本的に新しい方法で物事を行うことは、全体として望まないでしょう。

適さない可能性のある組織文化・環境

とてもクリエイティブな組織文化や人間には興味を感じるかもしれませんが、そのような環境で他の人々の革新的な発言に応じるのは難しいと感じるかもしれません。また、結果の達成よりもアイデアの生成や革新性を優先する環境で仕事をすると、フラストレーションを感じるかもしれません。

課題・困難のある分野で仕事をする

あなたの創造性が他の多くの人よりも低いということは、すでに実証されたアプローチやすぐ使えるソリューションに、よりあなたの焦点があるということでしょう。とは言え、よい発想や創造性を認めるとともに、可能な場面では常に革新を奨励し支援することがやはり重要です。誰でも敏感なものですから、相手の発想を批判するには、ときおり社会的にそつのない対応も重要です。

課題・困難のある分野を利点に変える

あなたは、実証済みの方法に焦点を当てるので、新しいアイデアを検討する時間を確保し、新しい提案やアプローチが実行される前に成功する可能性を確認することができます。もっとクリエイティブな人々が、物事を完全に変更してしまうことに陥り、不注意に既存の有効なプロセスを損なう結果になるかもしれないのと逆に、あなたは効果的に新しい項目を既存の方法に組み入れられるかもしれません。

キャリア分野チャート

このチャートは、たくさんの役割を対象とする12種類の大まかなキャリア分野へのあなたの適性を表しています。特定の職業や職種によってかなり異なる役割要件がある可能性を念頭に置いておく価値があります。例えば、あなたがマーケティングの仕事をしていて、評価の結果が「コミュニケーション&広報」と一致する場合、それがマーケティングの中でも特にあなたに適した側面だと考えられます。



キャリア分野への適性

レポートのこのセクションでは、あなたにふさわしい上位3種類のキャリア分野を紹介します。さらに、その3種類のキャリア分野の裏付けとなる主な強みについて詳しく説明します。これらの強みは、各キャリア分野の職種の典型的な要件に基づくものです。あなたの強みのレベルをこれらの職種の典型的な役割要件に照らし合わせて示します。




1 キャリア分野:コミュニケーション&広報

この分野の職種は、情報をわかりやすく明確な形で伝達することが必要になる傾向があります。このような多くの役割の業務特性を考えると、楽観的で柔軟なアプローチとフィードバックを受け入れる受容力が通常は極めて重要です。このキャリア分野の多くの役割には、一般の人々を含むさまざまな人々との交流が関与します。他の人々とポジティブに関わり、相手を居心地よくさせる包容力も重要です。

職種の典型的な役割要件		あなたの強み
情報を伝達する		代表的な強み
変化に対応する		若干の強み
関係を構築する		代表的な強み

2 キャリア分野:セールス、マーケティング&ビジネス開発

この分野の職種には、自己主張と自信が必要です。さらに、目標達成に向かう姿勢、起業家的な原動力とダイナミズムがこのキャリア分野のパフォーマンスのカギとなります。粘り強く明瞭な議論も、契約の交渉や締結には重要です。

職種の典型的な役割要件		あなたの強み
リーダーシップを発揮する		補助的な強み
成功に向けて邁進する		代表的な強み
情報を伝達する		代表的な強み

キャリア分野への適性

3 キャリア分野:コンサルティング&ビジネス管理

この分野の職種には、高いレベルの原動力とやる気、ビジネス意識、執念が必要です。さらに、重要な意思決定や皆の仕事の指示にはリーダーの資質も必要です。このような役割には、仕事のプランニング、編成、調整、優先度区分とともに、迅速な実行も重要な場合がよくあります。

職種の典型的な役割要件

成功に向けて邁進する



リーダーシップを発揮する



構造的にタスクを整理する



あなたの強み

代表的な強み

補助的な強み

課題・困難のある分野

本レポートについて

本レポートは、あなたの主な職務範囲における個人の動機、興味関心、ニーズ、才能を調査するWave®スタイルアセスメントに基づいています。

結果は世界におけるプロフェッショナルおよびマネージャー31,000名以上のグループとの比較に基づいています。

このアセスメントは自己回答形式を取り入れているため、結果にはあなたの自己認識が反映されています。Saville Assessmentの広範な研究により、結果は職場での行動を測る上では有効な目安となります。しかし、データ解析において主観的な個人の自己認識が反映されているという点については考慮しなければなりません。

本レポートは極めてセンシティブな個人情報が含まれております。取り扱いには充分ご注意ください。

本レポートの情報が自己認識を有効に反映するのは、個々の置かれた環境にもよりますが、12-24カ月間です。

本レポートは、Saville Assessment ソフトウェアシステムにより発行されたものです。受検した方の回答はこのシステムで処理され、あるがまま結果に反映されています。

本レポートは電子的に作成されています。Saville Assessment は、本レポートに変更または編集を加えていないことを保証いたします。本レポートの取り扱いについて、お客様サイドで起こりうるいかなる結果についても責任を負いかねます。予めご了承ください。

本レポートに対するフィードバック、コンサルティングの提供、また結果の活用については、Saville Assessment の社員、Saville Assessment のエージェントおよび Saville Assessment が承認したクライアントのみに認められています。